

『藝文類聚』（卷三）、『礼記』卷五、「月令第六」に「礼記曰、孟秋之月、涼風至、白露降、寒蟬鳴、鷹乃祭鳥」の一文が見え、これを踏まえて、時節が「孟秋」（＝七月）に移ったことをここでは言っている。

『菅家文章』「297 一葉落」にも「應驚涼氣動、不待曉風吹」の句が見える。

『漢語大詞典』「涼氣」の項では、「亦作「涼氣」、寒氣。清涼之氣」と説明し、曹植の「贈丁儀詩」の「初秋涼氣發、庭樹微銷落」および孟浩然の「夏日浮舟過陳大水亭詩」の「水亭涼氣多、間棹晚來過」の用例を引く。

○序 …… 順序、季節

○愆 …… 間違える。

○罔 …… 「副詞」…… しない。…… ず。（動作や行為を打ち消す）。

（須藤 修一）

484 絛意一百韻 (17) 129句から136句

本文

平仄

| | | |
|--------|--------|--------|
| 131 | 130 | 129 |
| 世路間彌險 | 斗建指星躔 | 灰飛推律候 |
| ●●●○●● | ●●●○●○ | ○●○●●● |